

ほのぼのせや

発行責任者 社会福祉法人 横浜市瀬谷区社会福祉協議会 〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町469 TEL 045-361-2117 FAX 045-361-2328
E-mail:info@seyaku-shakyo.jp ホームページアドレス <http://www.seyaku-shakyo.jp/> 承認 瀬谷区第55号

あなたの町の地区社協会長さんってどんな人? 地区社協会長プロフィール 大公開!!

パート3

- 1 経歴 2 趣味
- 3 地区社協でこれから力を入れていきたいこと、目標等
- 4 地区の自慢 5 メッセージ

宮沢地区社協
ふじしろ むつお 会長
藤代 睦夫 会長

- 1 地方自治体に35年勤務し、この間、総務、経理や企画等の業務に従事。その後、総合重機メーカーのホールセールの仕事をして7年間経験。地区社協は3年目。
- 2 旅行、読書、相撲・野球などのスポーツ観戦。
- 3 担い手の発掘、広報活動の充実
- 4 多くのボランティアさんが、各分野で黙々と活動していること。
- 5 ズブの素人が社会福祉の仕事に携って、奥の深いことに驚く。人生観、処世観をも動かす!

南瀬谷地区社協
はやし しげる 会長
林 茂 会長

- 1 体育指導員10年、青少年指導員14年、民生委員児童委員6年、地区社協会長3年、自治会長20年、連合会長4年
- 2 懐メロを歌うこと、地域活動
- 3 現在の地域活動の担い手が高齢化しています。地域の理解者を増やし、活動する人たちが楽しくボランティアが出来る環境づくりを行ってきたい。
- 4 社協・連合会と互いに協力しあいながらお互いの持ち味を生かし、地域住民が安心、安全な生活が出来るよう行政で届かない福祉活動をそれぞれの社協傘下ボランティアグループが楽しく行っている。
- 5 地域の皆さんがいつまでも今までのような生活を続けていけるようお互いが助け合いながら住み良い地域の構築のためにみんなで頑張りしたいと思います。

相沢地区社協
あいざわ たかし 会長
相澤 孝志 会長

- 1 川崎生まれ、川崎育ちです。昭和38年に現住所に転居してきました。昭和58年から体育指導員を26年間、この間、区体指会長、市体指部会長、体協役員等を歴任し現在も各種団体の役員として活動中です。
- 2 旅行、スポーツ、カラオケ(少々)
- 3 地域のすべての人達が安心して生活できるまちづくりをめざし、高齢者の生活支援、見守りによる地域づくり、健康保健教室の開催等を推進していく。
- 4 連合町内会と地区社協とが互いに協力しあって活動しています。
- 5 地域の皆さんの多くの参加・協力で福祉の体験や交流の場を広げていき、住み良いまちづくりの実現に向けてがんばりましょう。

受賞おめでとうございます

(敬称略)

第60回神奈川県社会福祉大会開催

神奈川県社会福祉協議会会長表彰

民生委員：松本幸一 保護司：宮本千秋、太田和代
ボランティア功労団体：相沢ふれあい食事会、瀬谷北部民児協あじさい会、本郷あじさい会、瀬谷第一民児協あじさい会

優良地区社会福祉協議会：瀬谷北部地区社会福祉協議会

神奈川県共同募金会会長感謝

石井進(個人)、ライオンズマンション三ツ境第二団地自治会(団体)
平成23年10月20日(木)、神奈川県立音楽堂にて行われました。

第31回横浜市社会福祉大会開催

会長表彰

- ・瀬谷区障害者団体連絡協議会・瀬谷区肢体不自由児者父母の会
- ・老人福祉センター瀬谷和楽荘・社会福祉法人湘南遊愛会
- ・特別養護老人ホームゆうあいの郷

会長感謝

- ・ユートピアすこやかクラブ
- ・瀬谷第二地区社会福祉協議会

平成23年11月22日(火)、関内ホールにて行われました。

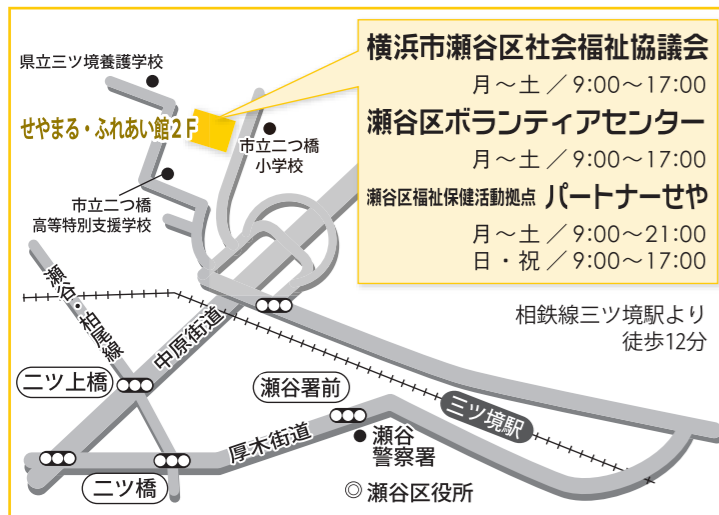
平成23年度 瀬谷区社会福祉功労者表彰式 22名 2団体

- | | | | | | | |
|--------|-------------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| ・稲垣 千ヨ | ・井上 富實子 | ・宇多川 節子 | ・落合 悦子 | ・角田 秀清 | ・川口 民善 | ・佐藤 哲夫 |
| ・竹内 六郎 | ・知場 庄三 | ・津国 礼子 | ・辻 善之 | ・長澤 ヒサ子 | ・萩原 百合子 | ・長谷川 芳子 |
| ・花田 孝子 | ・早川 愛子 | ・久田 勝利 | ・平鍋 了子 | ・藤生 房江 | ・盆子 繁子 | ・森田 美亀男 |
| ・米谷 恒雄 | ・だれでもサロン 一福 | | ・ゆうざり サロン | | | |

平成23年11月29日(火)、せやまる・ふれあい館にて行われました。



瀬谷区社会福祉功労者表彰式



編集後記

いま編集作業をしている「ほのぼのせや」が、皆さんの目に触れるのは、春が待たれる頃でしょう。編集委員は、寒さ厳しいなか、しかも乾燥しきった中で、ノドをゼイゼイいわせて頑張っています。皆さんの声が届きます。感想を寄せて下さい。頑張ります。

(編集委員 勝木 基博)

編集委員

- 委員長 遠山 文晴(瀬谷第四地区社協)
- 副委員長 矢田 誠(本郷地区民児協)
- 勝木 基博(三ツ境地区社協)
- 中野しずよ(ワーカーズわくわく)
- 小林 もと(原っぱ親の会)

区社協ホームページ

ボランティアの募集情報や瀬谷区社会福祉協議会の活動については、「<http://seyaku-shakyo.jp/>」までアクセスしてください。

瀬谷区民も頑張っています!! ～瀬谷区からボランティアバスが出ました～

実施概要

平成23年12月2日(金)の夜～5日(月)の朝まで3泊4日(うち車中2泊)という日程で瀬谷区からボランティアバスを出し被災地支援を行いました。今回は、51名の方からの申込みがあり、抽選の結果29名の方に参加していただき、事務局5名と合わせ、総勢34名で活動してきました。

活動内容

被災地での活動は、3日(土)・4日(日)の2日間で、3日は岩手県大槌町でガレキ撤去、倉庫内清掃、思い出の品の分別等、4日は岩手県陸前高田市でガレキ撤去、井戸・境界線の探索等でした。流されてきた土砂は、数メートルも堆積しているところもあり、大変な重労働でしたが皆さん一生懸命に作業をしていました。



当初の計画では午前・午後の活動を予定していましたが、残念ながら両日とも雨と強風により安全確保の観点から午前中のみの活動となりました。

しかしながら少ない時間ではありましたが、支援活動を通じてボランティアの方が被災者の方と直接に接触する機会が持てたことは有意義でした。

ボランティアバスを出しませんか?

今後も瀬谷区社会福祉協議会では、継続した被災地支援を行っていくために「善意銀行」で「ボランティアバス」を出すための寄付を募っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ボランティアバスに参加して



横浜市瀬谷区社会福祉協議会

会長 相原 信行

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。瀬谷区社会福祉協議会では、被災された皆様のお役に立てることを願い、ボランティアバスを出し、区民の方々と被災地でのボランティア活動を行ってまいりました。私も被災地に実際に入り、復興にはまだ多くの時間が必要であることを感じました。

私も参加しました。

Aさん(ニツ橋)

実際、大槌町と陸前高田の町は時間が止まったままで、本当に驚きました。復旧し、町の人々が生活を取り戻すにはどれくらいかかるのか想像できません。しかし、私たちのこの小さな1つ1つを繰り返すしかないのだと思います。このボランティアバスに参加した事でその一歩を踏み出す勇気を持たせたと思います。これを機にまたボランティアに参加しようと思います。

Bさん(ニツ橋)

今回、別な意味で印象深かったことは、ボランティア参加の30人余の大多数が若い現役世代の方々だったということです。瀬谷区の若い人を見直した、というおこがましいですが、一緒に活動できて、勇気づけられ感心させられました。

Cさん(中屋敷)

震災から9ヶ月経ったが、実際に被災地を見て、まだまだボランティアの必要性を感じた。場所によっては3月11日からなにも復興が進んでいないのだ。この経験から自分自身成長することができたと思います。また参加したいです!!